

# 祝

## 上山ハツエさん 100歳に



ハツエさん（中央）のお祝いに駆け付けた妹さんと鈴木町長ら

吉ヶ沢の上山ハツエさんは10月20日、めでたく満100歳の誕生日を迎えました。鈴木重男町長は上山さんの自宅へお祝いに駆け付け「ますますお元気で、長生きしてください」とお祝い金や花束などを贈りました。家族が見守る中、「ありがとうございます」とハツエさんは笑顔でこたえました。

前日も豆などの秋じまいをしたという元気なハツエさんは、現在5世代13人の大家族。18歳で嫁ぎ、子2人、孫7人、ひ孫18人、玄孫8人に恵まれました。長生きのひけつは「何でも好き嫌なく食べること」。同居する玄孫の叶夢くん（1歳）が走り回る姿を笑顔で見つめるハツエさんです。



また、昭和61年から特産品の山ぶどうを活用し、ワインの生産を行っており、毎年国産ワインコンクールで多くの賞を受賞している。平成11年度には「葛巻町新エネルギービジョン」を策定し、風力発電をはじめ、牛糞を利用したバイオマス、間伐材などを利用した木質バイオマス、太陽光発電、地熱利用など全国に先駆けて多岐にわたるクリーンエネルギーを活用するようになり、現在では町全体で使用する電力以上の発電量を誇っている。クリーン

ンエネルギーへの注目が高まっている中、その先進地として全国から多くの視察が訪れている。冬は氷点下20度以下まで気温が下がり、平地も少なく、決して恵まれていたとは言えない環境の中で「今、町にあるもの」を最大限に生かす工夫から、これらの特徴的な取り組みが生まれている。町の持つ資源を長年の地道な努力でブランド化することに成功した葛巻町の事例は、全国の過疎地域の参考となる要素を多々持っている。」

### 受賞までの経緯

① 都道府県からの推薦（5月）

② 表彰委員会による書類審査

○ 地域の自立・活性化について、モデル的・先駆的取り組みといえるか？  
○ 地域資源を活用し、地域の魅力を一層高めるものであるか？

○ 地域の自主的・主体的な取り組みであり、住民の積

「全国過疎問題シンポジウム2011 in えびめ」の2日目の10月14日、第1分科会で吉澤晴之主任（総務企画課）が優良事例として本町の取り組みについて発表しました。



本町職員が優良事例として発表

④ 表彰委員会における受賞団体の決定（9月）

③ 表彰委員会による現地調査（7月）

極的な参加・連携が図られているか？  
○ 都市との連携を図り、地域間交流の拡大に寄与しているか？

### 平成23年度過疎地域自立活性化優良事例表彰

# 総務大臣賞受賞



門山泰明総務省地域力創造審議官から表彰状を授与される鈴木重男町長

# まちの誇り

# またひとつ

「北緯40度ミルクとワインとクリーンエネルギーの町 くずまき」をキャッチフレーズとした本町の地域活性化の取り組みが、過疎対策の先進的、モデル的事例としてふさわしい団体であるとして、過疎地域自立活性化優良事例表彰の最高位賞である総務大臣賞を受賞しました。

10月13日に愛媛県西予市で開催された「全国過疎問題シンポジウム2011 in えびめ」で表彰式が行われ、鈴木重男町長が出席し、門山泰明総務省地域力創造審議官から表彰状を授与されました。県内自治体の受賞は、2003年の沢内村（現西和賀町）以来の8年ぶりです。選定に当たった過疎地域自立活性化優良事例表彰委員会の宮口佃委員長は、「草田開発事業で生まれた牧場での公社の地道な事業開発の積み重ねで、今や東北一の酪農の町に。さらに特産の山ぶどうを活用したワインの生産、風

### 評価のポイント

優良事例表彰パンフレットより  
「北緯40度、岩手県の東北部に位置する葛巻町では、冷涼な気候を活かし、明治25年から酪農に取り組んできた。現在では約1万頭の乳牛を飼育し、東北一の酪農の町となっている。」